

令和5年度授業改善推進プラン

教科名 理 科

学年	指導上の課題	具体的な授業改善策（補充・発展等）
1年	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎・基本が身につけていない生徒がみられる。 ・観察実験した結果をもとに、考える力やまとめるが不足している。 ・言語活動の充実。 	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎・基本を重点に置き、学習内容が理解できるようにする。 ○理科プリントをきちんと書かせる指導をおこなう。 ○授業内で1問1答の演習を行い、知識の定着を行わせる。 ○補習等で小学校段階の計算を復習させる。 ○実験・観察を通して、器具の正しい使い方や実験・観察の結果を、相手に正しく伝えられる練習を行わせる。 ○観察・実験を中心に、ビデオ教材やICTも活用し、授業における「見える化」を行い、理解を深め、興味・関心を高めさせる。 ○実験を行い、レポートを書かせることで、考察する力を身につける。 ○自分の考えを文章にまとめ、発表するなどの活動を通して、言語活動をおこなう。 ○班での調べ学習を行わせ、発表させる活動を行う。
2年	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎・基本が身につけていない生徒がみられる。 ・観察実験した結果をもとに、考える力やまとめる力が不足している。 ・言語活動の充実。 	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎知識の上に培われるものと考え、自然事象と日常生活の関連をわかりやすく展開し、興味・関心をもたせる授業づくりを行う ○計画的に家庭学習に取り組みせるように課題を出す。 ○教え合い学習で、勉強が苦手な生徒の「わかった」というきっかけを作る。 ○観察実験を中心に、ビデオ教材やコンピュータも活用し、興味・関心を高める授業づくりを実践する。 ○ワークシートなどを利用して観察実験を行い、結果から考察をさせ、表現力や思考力を高められるようにする。 ○自分の考えを文章にまとめ、発表するなどの活動を通して、言語活動をおこなう。
3年	<ul style="list-style-type: none"> ・観察実験した結果をもとに、考える力やまとめる力が不足している。 ・言語活動の充実。 ・定期考査・復習確認テストの結果から、原子・分子をモデルで考える習慣が身につけている。 ・学力を身につけ、高校受験に対応する力をきちんと身につけさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○観察、実験を中心に、ICTの活用を行い、興味関心を高める授業づくりを実践する。 ○観察、実験を通し、結論へのプロセスを考えさせる授業づくりを進める。 ○ワークシート・レポートなどを利用して観察実験を行い、結果から思考力や表現力を高められるようにする。 ○ペア・グループ活動での話し合いや科学作文を書くことで、自分の考えを伝える力・整理する力を高められるようにする。 ○2年生の最初からずっと定期考査で化学反応式を出題し、科学カルタ等でのモデルで考える習慣を継続して行っている。 ○教え合い学習を通して、勉強が苦手な生徒の「わかった」というきっかけをつくる。 ○3年間のまとめの「総整理問題集」を計画的に取り組みせる。 ○問題集とそっくりテストに付属する。一問一答を繰り返し行っから、テストに取り組みせることにより点数が上がった。